

全国 活動だより

▼北海道

今号も残念ながら…

越野 義貴(HBC)

今年もおよそ四半分過ぎようとしていますが、いつになれば世の中が元通りになるものか全く見当もつかない状況下で、今号も残念ながらほとんどの部会で「活動記録なし」と報告しなければなりません。

当地札幌の冬を彩る一大イベントである「さっぽろ雪まつり」は、昨年は早々と中止のアナウンスが出されたのですが、今年はいつも通り雪像建設が始まって、例年通りの冬の風物詩が見られると期待していたところ、急遽中止となり、せつかく途中まで積んだ雪像を取り壊す作業が始まりました。

関係者はさぞかし断腸の思いでその作業を見守っていたことと心中察します。

例年は数丁画にわたって大雪像が建ち並び、大変な賑わいを

見せる大通公園ですが、2年連続で大通公園の西端から14丁先のテレビ塔が見渡せる、味気ない風景になってしまいました。

ところが、このような時に限って、札幌市は記録破りの豪雪に見舞われました。

遠い郊外から雪を運んでこなくとも近間で十分用足りそうな勢いですが、実はもし開催されたとしたら、雪がほしい準備期間中ではなく、ちょうど会期中に豪雪に見舞われたことになり、交通機関の混乱で大変なことが起きていたかも知れません。

このような中、毎週水曜日に狭い事務局に編集委員5名ほどで詰めて作業を行っているのですが、お陰様でここにいる分にはコロナの喧噪と無縁でいられるのがせめてもの救いであり、和気藹々の大切なひとときでもあります。

新年度以降はノーマスクで以前通り活動できることを祈念し、次号会報紙上では是非、部会の活動報告をしたいものです。